

令和7年12月11日

山元町議会議長 菊地康彦 殿

派遣議員 竹内 和彦 高橋真理子 遠藤 龍之
丸子 直樹 大和 晴美 渡邊千恵美
品堀 栄洋 岩佐 秀一 齋藤 俊夫
岩佐 孝子 伊藤 貞悦 菊地 康彦

議員派遣結果報告書

議会議員のなり手不足に対する取り組みの視察研修を行ったので、その結果を下記のとおり報告します。

記

- 1 研修目的 議会議員のなり手不足に対する取り組みを視察し、本町における議会議員のなり手不足の要因と対策に生かす。
- 2 研修月日 令和7年10月14日（火）
- 3 研修場所 加美町議会及び大和町議会
- 4 研修概要

議会改革の一環として、定数削減や報酬増額に至るまでの調査・検討を行った経緯や、取り組みの内容についての説明を受けた。

また、幅広い世代の町民を研究員とするセミナーやワークショップの開催、議員と町民合同の研修会や町民アンケートなどを実施することで、議員のなり手の確保・育成を行っているということであった。

5 まとめ

議員の活動量を数値化し、「原価方式」により議員報酬を算出した結果、現在の活動量に対し報酬額が見合っていないという結果になれば、なり手不足解消の一手として議員報酬の増額はありうると考える。

一方、町の負担を考慮し、定数削減の議論につながることもやむを得ないと感じた。

なお、政務活動費においても、県内町村の21議会中10議会が導入していることから検討の余地があると考えられる。町民の意見公募や意見交換会などで、町民の理解と合意を得ることが必要不可欠であり、今回の研修で学ぶべきことは多いと感じた。